

学校だより

あいかわ なかはら



令和8年 9月3日(木)
愛川町立愛川中原中学校
愛川町角田210
Tel 046 (286) 2710
発行責任者 米澤 明範

笑顔の再会、そして充実の2学期へ

校長 米澤 明範

夏休みが明け、校舎に子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。それぞれが充実した夏を過ごしたことがうかがえ、大変嬉しく思います。2学期は一年の中で最も長く、学校行事も多くある学期です。一人ひとりが明確な目標を持ち、学習や部活動、行事に情熱を注ぐことで大きく飛躍することを期待しています。

この夏、熊本で大きな地震、千葉では豪雨が起きました。猛暑の中、今も避難生活や不自由な暮らしを余儀なくされている被災地の方々がいます。心よりお見舞い申し上げます。私たちの当たり前の日常が決して当たり前でないことを深く受け止め、この2学期の日々を大切に過ごしていきたいと思います。

さて、9月には3年生が、待ちに待った京都・奈良への修学旅行に出発します。中学校生活最大のイベントとも言えるこの行事を前に、3年生の教室からは期待に満ちた熱気が伝わってきます。私たちが当たり前のように行っている「修学旅行」ですが、その歴史を紐解くと、明治時代まで遡るそうです。日本における修学旅行の始まりは、明治19年(1886年)に東京高等師範学校(現在の筑波大学)が実施した「長途遠足」とであるとされています。当時は軍隊的な規律のもと、徒歩で千葉県銚子などを目指す過酷なものだったそうですが、その後明治21年に大阪の旧制中学校が伊勢神宮や奈良への旅行を行い、これが現在の宿泊を伴う修学旅行の原型になったと言われています。

今回の目的地である京都と奈良は、まさに日本文化の源です。千年以上前に建てられた神社仏閣、世界遺産、そして今も受け継がれる伝統工芸や街並みなど、本物だけが持つ圧倒的な歴史の重みがあります。事前学習で調べた歴史的建造物を実際に目にしたとき、生徒たちの胸には感動が湧き起こるのではないかと思います。—もしかしたら何年後かに改めて歴史的なものに触れた時に、今回の修学旅行の感慨がよみがえってくるかもしれません。

修学旅行の目的は、歴史や文化を学ぶことだけではありません。集団行動を通して「公德心」や「自律の精神」を養うこと、そして何より、寝食を共にする仲間との絆を深めることにあります。お互いを思いやり、協力し合って過ごす3日間は、中学校生活の宝物になるはずです。3年生の皆さんには、この歴史ある学びの機会に感謝し、逞しく成長して帰ってきてほしいと思います。そして1、2年生の皆さんも、先輩たちの背中を見ながら、それぞれの学年の目標に向かって、この2学期を力強く歩み進めていくことを願っています。今学期も本校の教育活動へのご理解とご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

※愛川中原中学校のホームページの『愛川中原中学校 BLOG』を、
随時更新しています。愛川中原中学校の最新情報はここから見られます！
※写真は学習室作成の9月の掲示物



令和8年度 総体・コンクール結果

剣道部	<厚愛技術講習会> 女子個人 ベスト4 <県央総体> 女子個人 ベスト16 女子団体 出場 男子団体 出場	陸上部	<厚愛総体> 男子 1年 100m 3位 女子 1年 100m 1位 男子 2年 1500m 2位 女子 2年 100m 1位 男子 共通 800m 3位 男子 3年 走り高跳び 3位 女子 共通 100mハードル 3位 女子 共通 4×100mリレー 3位 <県総体> 女子 100m 出場予定
サッカー部	<厚愛総体> 準優勝 <県央総体> 出場	卓球部	<厚愛総体> 団体 出場 個人 ベスト32 <県央総体> 個人 出場
バドミントン部	<厚愛総体> シングルス ベスト12 ダブルス 出場 <県央総体> 団体 出場 シングルス 出場	女子バスケットボール部	<厚愛総体> 出場
男子バスケットボール部	<厚愛総体> 準優勝 <県央総体> ベスト4	野球部	<厚愛総体> 優勝 <県央総体> 出場
バレーボール部	<厚愛総体> ベスト8 <県央総体> 出場	吹奏楽部	<県央吹奏楽コンクール> 銀賞

修学旅行へ向けて

9月13日（日）から9月15日（火）まで奈良・京都に行きます。1日目は奈良に行き、東大寺などを散策し、2日目は京都で班別散策を行います。班別散策ではそれぞれの班で話し合い、計画を立て、金閣寺や清水寺などの名所を巡ります。最終日の3日目には、伏見稲荷大社に行く予定です。修学旅行は今まで経験したことや、学校では体験できない文化や自然など、様々なものに親しむことができる貴重な時間です。この時間を有意義なものにできるように全力を尽くして楽しんでいきたいと思います。

修学旅行実行委員長